



# たぐすい

TAKUSUI

1998 DECEMBER No.506

# 12

●特集●

「農林年金制度の改正に係る組織協議案並びに  
意向アンケートに関する説明会」を開催！

# COLUMN

## 香の物

◆食堂で定食を頼むと小皿に二切れの漬物がついてくる。三切れにしないのは「身を切る」という意味を避けたシヤレというが、新香を噛む音に漬物の旨さが表れているように思う。カレー専門店では、テーブルに福神漬を山盛りした器があって取り放題である。カレーによく似合っているがナゼ福神漬なんだろう。福の神をなぞり七種の野菜が刻み込まれた福神漬では大豆(なたまめ)の形が面白い。徳島県の特産というこの豆は、他に使い道がないのか殆ど目にしないようだ。地方に出掛けると大根干しの風景が見られるが、流れて洗われた白い大根が次々に竿に干

されていく。冬初めの風物詩である。◆「漬物」には各地に特産品という銘品が沢山あるが、奈良漬けのように地名の付いたものは何処で作っても奈良漬けと呼ばれる。野沢菜漬け・山葵漬け・千枚漬けなど、誰でも一度は口にしているだろう。胡瓜の中身を割り貰って紫蘇の美などを詰めた「鉄砲漬け」は弁当のおかずになる。漬物は寒い地方においては保存食として利用したものだが、そのため塩分の摂りすぎによる高血圧症が多いと指摘されている。確かに塩と血圧には深い連なりがあるけれども、漬物の旨さには弊害を恐れつつも食べるのを止められぬ魅力があるのも確かなことである。

◆塩漬けによる食品保存の方法は、約二千年も前から行われていたという。「漬物賞めれば喋(かかあ)責める」と言う諺があるように、漬け物を自家製することが日常のものだったのである。漬け物上手は所持持ち上手と言われ、漬物と味噌を見ればその家の主婦の手柄まで判ったそう。冬場の年中行事のように色々な素材を塩漬けにして保存したが、大根の糠漬けは平安時代後期に登場したものである。いわゆる沢庵で「おしんこ」という呼び名には、新鮮さがでているように思うが、黄色みが毒々しいのは好きになれない。少しだが、惚れ惚れするようないのに出会いたものだ。(遊方子)

海底には不思議がいっぱい。色んな生物の姿がある。鮮やかな色のカイメンや小さな稚魚の群れ。蛸壺に入っているマダコ。やがて引き上げられるのも知らず、我がもの顔で悠々としている。岩かと思うオコゼの睨み目。忍者のような変装。見事な擬態をもって餌物が来るのを待っている。

## 海底で見た風景

### フォト歳時記

表紙写真  
南 正一さん  
〈水中写真家〉

## フォトギャラリー



## 今月の表紙

# 拓水 DECEMBER CONTENTS

COLUMN	2
香の物	
特集	3
「農林年金制度の改正に係る組織協議案並びに意向アンケートに関する説明会」を開催ノ	
TOPICS	4
平成10年度瀬戸内海漁場環境保全に関する漁業団体合同研修会を開くノ	
淡路地区ノ棋津・播磨地区で平成10年度漁協役員職員研修会を開催ノ	
吉岡修一氏(香住町漁協代表理事組合長)に漁協運動功労賞	
木下清氏(兵庫県信漁連代表理事会長)が第6回漁協大会功労者にかかる水産庁長官賞を受賞	
インフォメーション	6
ヒョウモンダコに注意ノ	
兵庫県の最低賃金改正のお知らせ	
栽培漁業センターです	7
水試ノート	8
魚の暗号履歴書を解読する	
海区漁業調整委員会だより	9
普及員だより	
「とれとれ市」で新鮮な室津の魚が大人気	
旬の美味しい話	10
焼きあなごのクレープ巻き	
兵庫JCC通信	
「介護保険の対応策探る」平成10年度JA高齢者福祉活動セミナーを開催	
生協法制定50周年記念シンポジウム報告	
巻末 essay	11
痛みについて考える	
マリンバイオテクノロジー	
第4話 細胞融合によるノリの品種改良-1	
こちら海ですロケだより	
灯台のある風景 PART II	
～但馬各地より～	

「拓水」は漁協と漁協系団体を結ぶ「コミュニケーション」の場です。報知したいこと、文芸など、皆さんの投稿は大歓迎いたします。裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。

# 特集

## 「農林年金制度の改正に係る組織協議案並びに意向アンケート」に関する説明会を開催！

…兵庫県漁連・兵庫県信漁連…

去る十一月四日（水）兵庫県漁連では兵庫県信漁連と共催で「農林年金制度の改正に係る組織協議案並びに意向アンケートに関する説明会」を水産会館において約六十名の参加により開催した。農林漁業団体職員共済組合農林年金制度対策室から大久保調査役を講師に招いて「厚生年金との統合と農林年金基金の設立（組織協議案）について」と「厚生年金との統合と農林年金基金設立に係る意向アンケートについて」の解説を行った。

農林年金制度のあり方については、制度をめぐる情勢の変化を踏まえ、平成十年六月の農林年金制度対策本部委員会が開催され、厚生年金保険との早期統合をめざし、本年十一月を目前に具体的検討を深めるという基本的な方向づけがなされた。以来、厚生年金との統合と農林年金基金の設立について具体的検討が進められ、ここに組織協議案として提案がなされることとなったものです。

① 厚生年金との早期統合をめざす。  
厚生年金との統合により、農林漁業団

体に勤務する人は厚生年金の被保険者となり、統合前の農林年金の組合員期間が厚生年金の被保険者であった期間と見なされることとなる。

② 農林年金基金を設立し、厚生年金に上乘せし給付を行う。

③ 現行の職域年金部分は「特例年金」として農林年金基金が支給する。

現行の農林年金の給付の仕組みは一階部分（定額部分）二階部分（厚生年金相当部分）三階部分（職域年金部分）からなっており、統合により一〜二階部分は厚生年金方式に改められ社会保険庁から支給されることになる。

三階部分は年金額計算方式の一部を改め「特例年金」として、農林年金基金から支給される。（図1参照）このうち「特例年金」については給付に必要な費用負担を極力軽減するため、物価・賃金のスライドは行わない、給付の再評価率等は厚生年金に合わせる、などの措置を講じる。「特例年金」の給付に必要な準備金については、厚生年金への移換金支払い後の積立金の

残額では不足することが予想されることから、一定期間「清算経理負担金」を徴収することとし、団体および組合員に負担を求めることとなる。

すでに年金を受給している人と現在の組合員について、均衡のとれた老後の所得保障を実現するため、設立した農林年金基金が厚生年金に上乘せ給付を行うが、給付に必要な費用負担に配慮し、基金の設立認可に必要な最低限の給付水準とする。

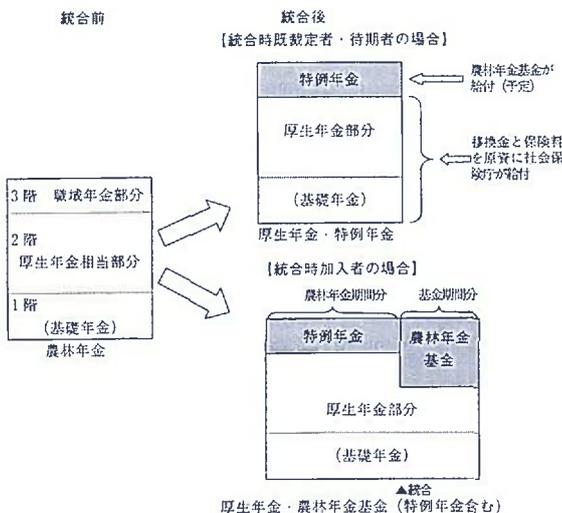
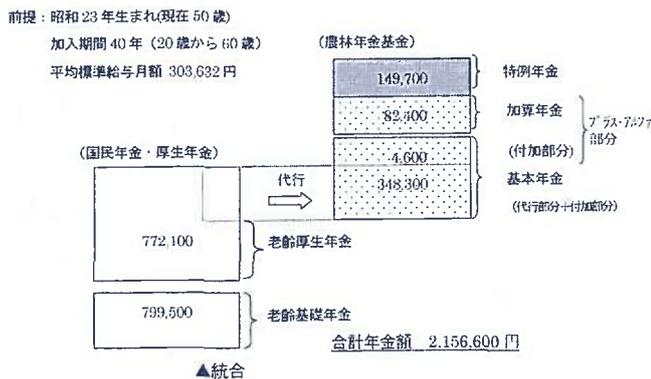


図1 年金給付の変更イメージ



現在、政府においては厚生年金の大改正に取り組んでおり、また厚生年金への移換金の協議はそれ以降になることから、「特例年金」にかかる給付と負担の数値を確定することは困難な状況にあり、組織案の基本的な考え方や枠組みについて説明会を通じて理解をいただき、追って確認・協議の手続きを考えており、この組織協議案をもって十分な組織内での合意形成をいただきますよう願っています。

組織内合意の結果を回答アンケートの形で聴取し、最終的なとりまとめが行われる。「意向アンケート」は回答用紙（ハガキ）に回答のうえ二部コピーし、一部を団体控とし、あと一部を県漁連あて提出して頂くこととしている。

## 平成十年度 瀬戸内海漁場環境保全に 関する漁業団体合同研修 会を開く！

…瀬戸内海漁場環境保全対策  
連絡会ほかの共催

去る十月二十日、瀬戸内海漁場環境保全対策連絡会と岡山県漁業協同組合連合会及び社団法人瀬戸内海環境保全協会の三者共催による「瀬戸内海環境保全に関する漁業団体合同研修会」が開催された。瀬戸内海における環境保全対策の観点から、毎年時宜を得たテーマを選定して合同研修会を行うもので、今回は五十名の参加により行われた。

内容は講演と施設見学の二部に分かれ、講演は倉敷市国際ホテル会議室において、放送大学香川学習センターの岡市所長を講師に迎えて「水島及びナホトカ号の油流出事故から」と題して講話を頂いた。閉鎖性海域である瀬戸内海で大量の油流出事故があった場合は、被害は甚大なものに及び可能性があり、その対応の一環として環境調査を行った周辺海域の現況報告を中心に、油濁事故の発生した場合の対応策に関する動向などを、日本海におけるナホトカ号の事例をもとに講話があった。ナホトカ号事故の被害事例は記憶に新しく参加者の関心を呼んでいた。

また施設見学は場所を水島に移動して「石油連盟における第二油防除資機材備蓄基地」を見学した。この施設は同連盟が全国六ヶ所に設置している油濁防除の資機材備蓄基地の一つで、(株)ジャパネナジー水島製油所の広

い構内にあり係員から資機材の状況等を解説して頂いたあと、実際に資機材の備蓄状況を見学した。



資機材備蓄基地を見学する

## 淡路地区／摂津・播磨地区 で平成十年度漁協役員職 員研修会を開催！

— 県漁連 —

県漁連では淡路地区及び摂津・播磨地区において、平成十年度地区別漁協役員職員研修会を開催しました。淡路地区研修会は十一月二日(月)淡路一宮町のパルシェ香りの館において、漁協役員等七十一名の参加により開催し、摂津・播磨地区研修会は同月十日(火)に姫路市の播磨漁友会館において六十五名の参加によって開催しました。

本研修会は、漁協役員を対象に知識の向

上と漁協の健全な発展に資することを目的に毎年行っており、本年度は「儲ける漁業に向けて」を共通テーマとし、(財)日本鯨類研究所／元理事長の長崎福三氏を講師に招いて講演を頂きました。その中で長崎氏は「漁業とは、海の恵みである魚介類を獲ることにより営んできた、本来は元手のかからない産業であり、その管理と調整によって上手に漁獲すれば、必ず『儲かる産業』である。その地域に合わせた漁具漁法を利用すること等により、漁業者自らが海産物を管理する気持ちで漁業を営んで頂きたい」とし、近年取り沙汰されている流通問題や資源管理型漁業の進め方、漁獲方法の問題点、また産業として儲け易い点・儲け難い点など、様々な実例を挙げながら「儲ける漁業」についての貴重な講話を頂きました。

地区別のテーマとして、淡路地区では(株)漁協経営センター代表取締役／山本辰義氏により「水産物の流通対策と漁協販売事業」と題して講演を頂き、魚価向上への努力として、



共通テーマ「儲ける漁業に向かって」の講演



摂津・播磨地区「水産物の流通対策と漁協販売事業」の講演

魚のブランド化や販売事業の統一化など流通・共販関係を中心とした他県での取り組み紹介を交え、豊富な話題の提供を受けました。また、摂津・播磨地区では、全漁連・元特別囀託の山本金雄氏を講師に招いて「漁協理事・監事の職務と権限、義務と責任」と題して講演して頂きました。水協法による、組合のあるべき姿と目的について、また組合の運営が組合員の豊かさに直結するものであること、それを踏まえて運営を行うのが理事・監事の職務であること等、その職務遂行の重要性について詳細な解説をして頂きました。

どの地区の研修会も、非常に身近な問題ばかりであることから、参加した方々は熱心に聞き入っていました。漁業環境の目まぐるしい変貌により、漁協経営がますます難しくなっている現状において、これら教示をうけた事柄を今後の漁協経営に旨く役立てて頂きたいものと思っています。

なお、但馬地区については、平成十一年二月頃に開催する予定としています。

## 吉岡 修一氏(香住町漁協代表理事組合長)に漁協運動功労賞!

全漁連は9月21日、平成10年度の漁協運動功労者38名を決定。本県から吉岡修一香住町漁業協同組合代表理事組合長が選ばれました。11月26日、東京・虎ノ門パストラルで表彰式が行われました。



### 略 歴

昭和30年4月～現在 漁業に従事  
 昭和62年7月～平成6年5月 香住町漁業協同組合 組合長理事  
 平成6年6月～現在 香住町漁業協同組合 代表理事組合長

以下現職のみ抜粋 全国共済水産業協同組合連合会兵庫県事務所長、兵庫県漁業協同組合連合会副会長理事、兵庫県信用漁業協同組合連合会理事、兵庫県漁業信用基金協会理事、但馬漁船保険組合組合長理事、兵庫県漁港協会理事、(財)兵庫県水産振興基金理事、(財)兵庫県水産公害対策基金理事、(財)兵庫県栽培協会監事、兵庫県機船底曳網漁業協会会長、(財)全国底曳網漁業連合会副会長理事、全国共済組合連合会理事、神戸税関名誉所長

### 功績の内容

氏は香住町漁協にあって理事・常務理事・専務理事を経て組合長に就任、その卓越した手腕をふるい組合運営に尽力され、中でも組合財務の改善に苦心し、氏の英断により漁協信用事業整備強化対策事業を導入するなど、組合経営を健全化へ導いた功績は大きく、また、漁港の整備において関係機関へ積極的に働きかけて漁業関連施設の近代化に務め、これらを計画・実現へと導き、近年には漁協直営の水産物販売施設をオープンさせるなど地域活性化への貢献も多大なものがあり、これら時代の変化を的確にとらえての氏の英断は高く評価される所であり、そしてまた県機船底曳網漁業協会会長として関係漁業者等への指導、雇用制度の見直し・改善に努めるなど労働力確保・後継者育成に尽力する一方、資源培養思想に則りズワイガニ増殖場の造成、移植放流等を関係機関へ随情指揮し、これを実現させるなど漁業経営の改善と地域漁業の発展に寄与した功績には顕著なものがあります。さらに県下水産系統団体の要職をつとめ、水産業の振興に貢献した功績も計り知れないものがあり、今後も氏の活躍がますます期待されている所です。

## 木下 清氏(兵庫県信漁連代表理事会長)が 第6回漁協大会功労者にかかる水産庁長官賞を受賞

先般、水協法施行50周年記念・第6回全国漁業協同組合大会における功労者表彰について、水産庁長官より決定通知があり全漁連を通じて発表された。本県からは、木下兵庫県信用漁業協同組合連合会代表理事会長が功労者に選ばれ、水産庁長官賞を受賞されることになりました。11月27日、日比谷公会堂にて開催の第6回漁業協同組合大会において表彰式が行われました。



### 略 歴

昭和39年4月～昭和51年3月 津居山港漁業協同組合 理事  
 昭和51年4月～現在 津居山港漁業協同組合 代表理事組合長  
 昭和51年5月～昭和63年9月 兵庫県信用漁業協同組合連合会 理事  
 昭和63年10月～現在 兵庫県信用漁業協同組合連合会 代表理事会長

以下現職のみ抜粋 兵庫県漁業協同組合連合会理事・但馬漁船保険組合組合長理事・兵庫県漁業共済組合理事・兵庫県信用基金協会理事・(財)兵庫県水産公害対策基金理事・(財)兵庫県栽培協会理事・(財)兵庫県水産振興基金理事・(財)全国漁協信用事業相互援助基金理事

### 功績の内容

氏は、衆望を担って地元漁協の組合長に就任、その卓越した識見と抜群の統率力をもって、環境変化の著しい水産業界にあって対処し、一貫して地域漁業の振興・発展・育成など諸問題に尽力された。また、62年8月に信漁連理事に就任以来、常に漁業者の立場を重視しながら同連合会の運営に提言を行うとともに、経営改善が必要であった時期には、当該委員会の委員長として改善策を検討推進するなど、氏の統率力と推進力による功績は大きく、また近年においては、一県一信用事業統合体の実現に向け、自らが先頭に立ち、平成9年には出身組合を含め3組合、平成10年8月までには7組合の統合実現を完成し、計画どおりの進捗を遂げておられます。これは偏に氏の真摯な態度とともに、難局に対しての先見的な指導力とその誠意・熱意の結果であり称賛に値する所であり、そしてまた県下水産系統団体の要職にあって、漁業秩序維持・推進に貢献された功績は衆目の一致する所であり、その指導力と行動力をもって今後も活躍が期待される所です。

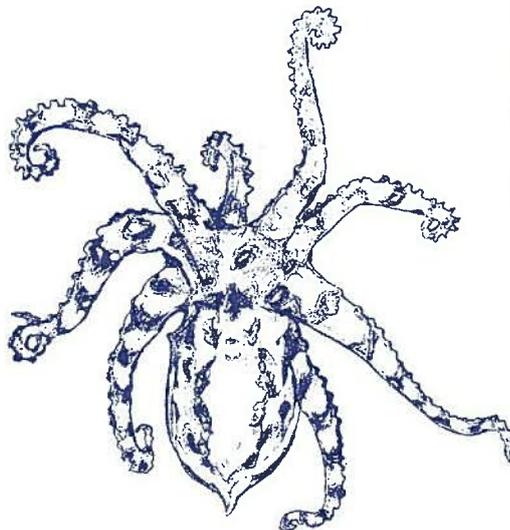
# ヒョウモンダコに注意!

大阪府からの情報によりますと、毒を持つヒョウモンダコが大阪府水産試験場（泉南郡岬町）前で引き上げた人工魚礁から、8尾が見つかったとのこと。今回以外に大阪湾からヒョウモンダコが確認されたという情報はありません。

今年は平年より水温が高めだったため、大阪府に稚ダコが入ってきてそのまま成長したのではないかということですが、本県海域でもヒョウモンダコが生息している可能性が十分ありますので、漁業関係者の方々は、みつけても触らないように注意して下さい。また、ヒョウモンダコを見つけたというような情報がありましたら、お知らせ下さい。なお、漁獲された場合は食用しないとともに、流通させないようお願いいたします。

## ヒョウモンダコとは？

- ・ヒョウモンダコは外敵からの防御のためでなく、餌生物を麻痺させて捕食することを目的として、咬むときに唾液腺からフグ毒（テトロドトキシン）を分泌します。
- ・特に攻撃的ではなく、くちばしも小さいため、咬まれたことに気づかない場合が多いそうです。
- ・症状は一時的な麻痺で、激しい場合は死亡することがあります。咬まれると五〜十分で麻痺が始まり、続いて顔や首のまわりがしびれ、言語障害等が起こり、全身麻痺で死亡するそうです。



- ・体長十二cmくらいの小型のタコで、普段は灰褐色の地に褐色ないし黄褐色の帯状の縞模様があり、その上にリング状の小さな青い斑紋が散在しています。タコを刺激すると、みるみるうちに黒ずみ、青い斑紋がクジャクの羽のような虹彩を放つそうです。
- ・温帯の浅海に住み、日本では伊豆大島、南九州、南西諸島、またオーストラリア、インドネシア、タスマニア等に広く分布します。

## 兵庫県最低賃金改正のお知らせ

平成10年9月30日より 日額 5,265円  
時間額 660円

この最低賃金は、兵庫県内で使用される、パート・アルバイト等を含めたすべての労働者に適用されます。

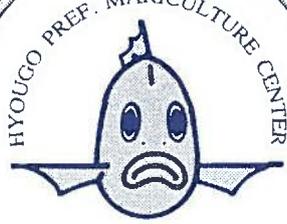
但し、これより高い金額の産業別最低賃金が適用される業種はそれぞれ最低賃金が決められ、平成10年12月1日より実施されます。

※産業別最低賃金が適用される業種は、繊維工業、鉄鋼業などの9業種が指定されています。

※詳しいことは

兵庫県労働基準局賃金課（電話 078-332-7020）又は、最寄りの労働基準監督署へお問い合わせ下さい。

HYOGO PREF. MARICULTURE CENTER



**栽培漁業センターです**

**123**



今年も終盤に差し掛かり、冷え込む日も多くなってきました。この季節になると、当協会の但馬栽培漁業センターではクロアワビ採卵の準備が忙しくなります。アワビは当然、食料として漁獲され、流通するのですが、日本社会の中で食べ物としてではない別の大事な役割を持っています。採卵状況や飼育方法については、これから始ま

る本年度生産の経過を踏まえて次の機会にお知らせすると、今回はアワビの変わった役割についてお話しします。

この食べる以外のアワビの役割とは縁起物、供え物としての役割です。縁起物とは進物、祝儀などに付ける熨斗のことで、元来、熨斗はアワビの肉を細く切り乾燥して伸ばしたものだそうです。高級な進物として干しアワビを贈るうちに形式化して現在のような熨斗となったと言うのが通説と聞きます。熨斗の中央に付いている茶色い紙はアワビであったなごりだそうです。また、供え物としての役割としては伊勢神宮の神事で大量のアワビが使われるという例があります。現在の伊勢神宮で行われる恒例行事だけでも生アワビ千三百八十、干しアワビ数千個が供えられ、さらに臨時の祭典もあるそうで大変な数が使われます。伊勢神宮では干しサザエも年間三千個以上が供えられるそうですし、マダイがお祝いなどで用いられることはよく知られています。アワビをはじめとして、これらの水産物はいずれも栽培漁業の主要種となっています。

栽培漁業対象種は当然価値の高いものが選ばれますが、これらが食品としての価値に加えて日本人の心に特別な意味を持たれる魚種にたどり着くというのも心情的な付加価値があるためかもしれません。我々の仕事がこのような文化的側面に微力ながら貢献しているという言い過ぎでしょうか、このようなことが仕事への意欲を刺激してくれるのは確かです。

さて、各事業場の状況ですが二見の兵庫県栽培漁業センターではアカウニ、アサリ、アワビの試験生産がスタート、また冬期の準備として親魚の加温水槽への移動、親魚として養成するためのマダイ稚魚の購入などが行われています。淡路の津名事業場では試験生産しているアサリが沈着直前まで成長し、アカウニは三百八十万粒の卵を管理中です。また、但馬栽培漁業センターではカゴ飼育中の六十万個のサザエが順調に殻高二・五〜三ミリとなり、クロアワビの生産を目前に控えています。各事業場共に、生産がスタートし活気を帯びてきております。

(兵裁協 根本 拓史)

躍動する海 活動する

**神鋼 鋼製魚礁**



神戸製鋼グループの魚礁メーカー

**神鋼 鋼製魚礁** 株式会社

本社 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46番地  
TEL (06) 418-3797 FAX (06) 418-2423



## 海区漁業調整 委員会だより

十月二十一日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を兵庫県民会館で開催

一、区画漁業（魚類養殖）の要望状況について

平成十一年四月で切り替えとなる区画漁業権（魚類養殖）の要望状況について、水産課から報告が行われた。要望の内容は、小割式養殖が十二件、仕切網養殖が二件で、現行の免許内容と変更はない。

二、平成十一年度岡山・兵庫県瀬戸内海連合海区漁業調整委員会における入会協定について

現在の協定内容について事務局から説明を行い、関係委員に來年度の入会協定について、検討を依頼した。

この件については、來月の協議会で当海区の方針を協議する予定。

十一月二十四日

第二百三十七回兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会及び委員協議会を兵庫県中央労働センターで開催

（委員会）

一、「海洋生物資源の保存及び管理に関する兵庫県計画」の変更について（諮問）

このことについて、審議の結果、原案どおり変更することに決定した。

（委員協議会）

一、平成十一年度岡山・兵庫県瀬戸内海連合海区漁業調整委員会における入会協定について

このことについて、協議の結果、本年度と同じ内容で臨む方針を決定した。

二、全国海区漁業調整委員会連合会西日本ブロック会議の概要について

十一月五日に岡山県で開催された西日本ブロック会議の概要について、事務局より報告を行った。

十一月十七日

第四百回但馬海区漁業調整委員会及び委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

（委員会）

一、「海洋生物資源の保存及び管理に関する兵庫県計画」の変更について

当該計画の変更案について審議の結果、原案どおり変更して差し支えない旨答申することを議決した。

（委員協議会）

二、平成十年度資源培養管理型漁業促進対策事業について

当該事業の流れ及び当該事業に基づくヒラメ・アカガレイ・ズワイガニ・マダイに関する各種調査の概要について報告がなされた。

三、全国海区漁業調整委員会連合会日本海ブロック会議の概要について

当該会議の概要及び議決に基づき行われることになった日韓新漁業協定締結問題に関する中央要請の計画について報告がなされた。



## 「とれとれ市」で 新鮮な室津の 魚が大人気

御津町では生活改善グループ（9グループ112名）が中心となって、平成7年から毎週土曜日の朝に青空市を開いています。

農家のグループ員が栽培した新鮮な野菜や季節の花と、漁家のグループ員がその日に水揚げされたとれとれの魚を販売しており、「とれとれ市」の名にふさわしい新鮮さと低

価格で人気を呼んでいます。

中でも、漁家のグループ員が行う魚の直売は、魚料理のコツを親切に教えてもらえるところであって、魚を目当てに来られる客が増えています。

「この魚どうやって食べるん」「今日のおすすめの魚は……」等々質問費めにあうこともたびたびです。

地元でとれる身近な魚を家庭でもつと使ってもらえるように青空市がそのPRの場になればと意気込んでいます。

また、「この魚にはこの野菜が合うで！」と野菜の販売にも協力するなど、農家・漁家のグループ員同士の交流の場にもなっています。

室津漁協婦人部では、「とれとれ市」を核にした消費者との交流を通じて、魚のおいしい食べ方やさばき方などの情報を提供し、地域の魚食普及に努めて

います。

現在、「とれとれ市」は週1回テントでの販売ですが、将来は常設の売場を確保し、販売回数も増やしていきたいとグループ員一同がんばっています。

（菟野農業改良普及センター

藤井 久美）



◆材料・分量(10本分)◆

あなご(小).....10匹  
 きゅうり.....1本  
 おおば.....10枚  
 京ネギ.....1本  
 グリーンアスパラ.....5本  
 人参.....½本

A 酒・しょう油・みりん.....各30cc  
 B 田楽みそ150g(Bの応用として  
 梅干し(減塩).....大1個  
 C クレープの皮  
 強力粉・薄力粉.....各50g  
 牛乳.....150cc

●焼きあなごのクレープ巻き●



摂津地区漁協婦人部連合会刊「こうべのお魚料理」から

旬の美味しい話 ⑥8

- ▼作り方▲  
 ①あなごは開いて皮のぬめりを取り、Aのたれに二十〜三十分つけてから焼く。  
 ②きゅうりはせん切り、京ネギはせん切りにした後さらして白髪ネギにする。アスパラはゆでる。にんじんはせん切りにして塩水でさっとゆでる。  
 ※好みでいろんな野菜を使う。  
 ③Cの材料をよく混ぜ、熟したフライパンに油を引き(残り油をきれいにふき取る)、なるべく薄く円型に焼く(クレープの皮をつくる)。  
 ④田楽みそ(市販のものでよい)とほぐした梅干しを混ぜ合わせる。  
 ⑤③に④をぬり、好みの野菜と①の焼きあなごを巻いていただく。  
 ※Bの代わりに市販の柚子でもよい。



兵庫JCC通信  
 今、JA・生協では



生協法制定50周年記念シンポジウム報告



大阪学院大学・野尻武敏教授による講演

生協法制定五十周年という節目の年にあたり、厚生省が設けていた「生協のあり方に関する検討会」の報告書が、この六月にまとまったのを受けて、これからの時代、生協がどんな存在意義を持ち、社会のなかでどんな役割を果たしていくのかを考えたシンポジウムが、十一月九日(月)、新大阪にあるホテルグランドパレスで、日本生協連、全労協の共催で開催され、約二百七十名が参加し、県内生協からも多数の参加がありました。来賓として厚生省社

会援護局地域福祉課・樋口正昇課長の挨拶の後、基調講演として、「あり方検討会」座長を務められた野尻武敏大阪学院大学教授が、「明日の生協―生協のあり方検討会から」と題して講演され、「これからの社会では市場セクターと公共セクターの中間ともいうべき社会(ボランティア)セクターの役割が重要。手を取り合って生活を支える生協の活動は、組合員の大半を占める女性の社会的活躍の場も提供してきたし、コミュニティづくりにも貢献してきた。これからは、事業基盤を固めつつ、組織の改革が必要。協同組合人として大きな歴史の歯車を回している、との意識で活躍してもらいたい。」と激励されました。  
 第二部のパネルディスカッションは、参加のデザイン研究所代表の世古一穂氏をコーディネーターに、生協のあり方検討会委員でもあった立命館大学教授・川口清史氏、日本経済新聞社記者の中村奈都子氏、日本生協連常務理事・藤岡武義氏の三氏でおこなわれ、これからの社会像や生協の課題、解決のためのアイデアなどが活発に議論されました。

「介護保険の対応策探る」  
 平成10年度JA高齢者福祉活動セミナーを開催

JAグループでは高齢者社会に対応するために、組合員、地域住民を対象とした高齢者福祉活動に取り組んでいるが、公的介護保険制度が平成十二年四月から施行されることになり、今後進むべき方向等について共通認識を深めるため、JA兵庫中央会と県各会は、十月九日(金)県農業会館においてJA高齢者福祉活動セミナーを開催し、三十三JA等九十一名の参加があった。中央会が精勢報告で、本県の高齢社会の進行状況を説明。JAグループの対応について、「ホームヘルパーの養成は、九月末現在で一級が十八人、二級が二十二JA二百二十七人、三級が三十一JA千九百三十三人を養成している。今年度末までに一級は十九人、二級は二十二JA五百十八人、三級は約二千五百人の養成が見込まれる。JAの助けあい組織は現在、十六JAに設置され、そのうち八JAが行政から業務を受託している。また、デイサービスセンターの設置は、一九九九年の開設が県内三JAで進んでいる。介護保険の事業指定に向けた協議と体制整備の実現が必要」と報告した。  
 JA全中地域振興部榎井勇部長は「介護保険へのJAの取り組み方を説明し、今後の三〜四

カ月が行政との協議の山場であり、待たなしの状況である」と強調した。  
 ついで、兵庫県健康福祉部の鹿間都夫課長補佐が県行政の取り組みを説明し、島根県JAくまびきの富士本数認ふれあい福祉課長補佐が事例報告し、梅花女子大学の大家保信教授が「介護保険制度における民間活力の活用について」と題して講演した。



梅花女子大学・大家保信教授による講演

# 痛みについて考える

◆原因の判からぬ痛みというのは大いに困りものである。診察を受けても異常が認められず、医者は心因性のものかも知れないと言ふ。何処（どこ）も悪くないのである。転倒による打撲など、原因があれば其処（そこ）を中心に手当すれば快方に向かうが、原因不明の場合は鎮痛剤を使う程度で根本からの治療とはならない。痛くもないのに痛みを訴えた場合、診察医を騙せるだろうか。保険金控取では、医師の証明如何で保険金授受の成否がきまる。しかし、ニ

セ患者を見破るのは困難に近いという。詐欺事件の発生する素地が、この辺りにありそうである。

◆病気でないのに痛みを訴えるのを詐病（さびょう）というが、そんなニセ患者が戦時中に激増したそう。病気を口実に兵役を逃れるためである。幾ら上手に演技をしても、専門医が一週間から十日も観察すれば見破ってしまう。痛みというものは自己表明があつて初めて判かることで、他人には理解し難いものであるが、いたくもな

いに痛みを訴えるのは、かなりの苦しみだった筈だ。傷害保険金の詐欺事件が暴露されたが、痛さを客観的に計測できる機器がない以上、本人が後遺症があると申請すれば信じない訳にくまぬ。痛みを視覚的に捕らえるのは不可能に近いのである。

◆「痛い痛い病」という気の毒な疾病がある。特定地域に発生し、富山県神通川流域では鉍毒によるものではないかと研究が進んでいるが、ホンの少し体を動かすにも痛みがあつて辛いとか。実際にそうした状況では人間にとって最大の苦しみであるだろう。入院して安静するように言われ、特に痛みもないのに動けないという経験をした事があるが、動けないことは非常に苦しい事だと痛感したのである。病による痛さに比べれば安静を強いられる事など問題外であるが、痛みを堪える苦しみは体験あつてこそ判かるというものだ。

◆列車のなかで指の傷が疼き始めて難儀したことがあつた。左手の親指内側のちよつとした傷が化膿して炎症を起こしたのだ。泣くことも出来ず痛さを堪え、早く下車駅になることを必死で願つた。痛みを堪えることは何度かあつたが、この痛さは格別だった。絆創膏を貼つただけの所を庇いつつ、下車駅に着いて家に駆け込み、外科医に電話して即刻切開手術となる。「ひょう疽」のかなり進んでいる状態で、医者が「我慢の限界だったな」と言う。膿を出してしまつと、まるで嘘のように痛みは消えたのである。

◆脳梗塞で倒れた老母に付き添つて病棟暮らしをしたが、言語障害で痛みを訴えることが出来ない状態だった。看護するにもこれで良いのかと迷つたが、本人の意思表明が無いため判らない。痛みが判る感覚というのは人間にとって重要であり、生きるために痛みを感知することが肝腎なのだと思ふには痛切に思ふのである。昔、赤ちゃんには痛みの感覚はあるまいと考えられ、手術するにも麻酔せずに行つたというが赤ん坊には良い迷惑だっただろう。最近では、赤ちゃんも痛みを理解しているという説で何事も行われていくという。松の木を伐つたら、数日して切り口全体がヤニに覆われているのに気づいたが、それは松が痛みを堪えるために、自身によって手当したのだと思つたものである。（遊方子）

## マリンバイオテクノロジー

### 第4話

#### 《細胞融合によるノリの品種改良-1》

今年のノリ養殖もいよいよ本格化し、間もなく新海苔にお目にかかれるでしょう。このノリ養殖に使用されているノリの品種は、大きく分けて2つあります。一つはアサクサノリ、もう一つはスサビノリです。これらから枝分かれして多くの品種のほとんどが選抜・交雑・突然変異といった品種改良法から生まれたものです。そこで近年バイオテクノロジーで新品種を開発する研究が行われています。今回はこの事についてお話しします。

まず最初にノリの生活史について簡単に説明します。ノリは葉状体と糸状体の2つに大別されます。葉状体は秋から冬にかけて生長します。この時、葉状体の縁辺の細胞が分離して中性胞子（単胞子）を形成します。中性胞子はやがて発芽して葉状体になります。いわゆる二次芽のごとですが、このような繁殖を「無性生殖」といいます。冬になると葉状体は有性生殖を行い、果胞子を作りますが、この果胞子がカキ殻などに穿孔して糸状体となります。そしてノリ糸状体として夏を過ごします。秋口になると糸状体内に作られる胞子嚢（ほうしのう）から胞子（殻胞子）が放出されます。この胞子をノリ網に付着させる作業が「採苗」です。胞子は発芽し、冬になると葉状体に育ちます。

ノリの品種改良法は先にも述べましたが、昔から選抜・交雑・突然変異といった方法で行われてきました。これらに次ぐ方法として、プロトプラストによる細胞融合を利用した品種改良が行われています。ノリ細胞では細胞壁が周囲を厚く取り巻いており、しかも隣り合った細胞同士が相互に堅く結合しているために、そのままでは融合はおろか単細胞を作ることさえ困難です。そこでノリの場合は、この細胞壁を取り除くことがまず必要となります。プロトプラスト（原形質体）とは、この細胞壁を取り除いた裸の細胞のことを指します。異なる性質を持ったノリのプロトプラストを作り、細胞融合させて新品種を作り出していこうというのです。それでは実際に、どのような方法で細胞融合させるのか。これについては次回にお話しします。（N）

### 編集後記

- ◆高齢化する社会構造への対応策として、農林年金と厚生年金の統合への動きがハッキリとしてきた。組織協議案が示され取り組み方が固われている。将来の設計に向けて真剣に考えなければならない。
- ◆地球温暖化のためか立冬をすぎても温かく、ノリの種付けに多少の影響が見られた。生育はやや遅れ気味で第1回の共販は中止と決定。オーストラリア海域に生息の毒タコが大坂湾で見つかった。美しい紋様をもつ小型のタコだが猛毒をもち要注意。
- ◆「こちら海です」灯台のある風景パート2は但馬海域の灯台編。海での航行安全のため、灯りを点し続ける懸命な努力に頭が下がる。（遊）

●サンテレビの

# こちら海です



兵庫県最北端の猫崎灯台に、やっとの思いでたどり着きホッとした赤松リポーターの笑顔



「灯台記念日」役かつ「海上保安官」のイメージキャラクター「うみまる」



猫崎灯台の徒歩巡回出発前 香住航路標識事務所の皆さんと

【'98年11月22日放送  
第1104回】

## 口々たより

### 灯台のある風景 PART II 〈但馬各地より〉

今年の春、お送りした瀬戸内海側の「灯台のある風景」。船の安全航海のための海の道標としての灯台の役割と色々なユニークな灯台をお送りしましたが、今回は場所を但馬海岸に移し取材しました。

リアス式海岸で雄大な海岸線を誇る但馬の海岸は、兵庫県の豊岡市から西へ竹野町・香住町・浜坂町と二市三町約九千キロに亘っています。そして灯台は山の上や岬や岩礁・港の出入口に三十七基設置されています。一番北東部の豊岡市の捨ヶ島灯台から一番北西部の浜坂町居組の不動山灯台まで、三十七基の灯台を保守管理されているのが第八海上保安本部・香住航路標識事務所の三人の方々です。

入り組んだリアス式の海岸の但馬は、徒歩による保守・用船による保守、岩礁等を照らす照射灯台等と但馬ならではの厳しさや特徴があります。竹野町の猫崎半島の突端は兵庫県の最北端、その突端の猫崎灯台は兵庫県の一番北にある灯台と言われます。十一月、今年には海上保安庁創設五十周年の年であると共に、第五十回目の灯台記念日にあたります。香住町の御崎にある余部崎灯台は標高二百八十四メートル、光の届く距離七十三キロメートルと、共に日本一を誇る灯台です。十一月一日、一般公開には地元の子供たち等が午前中に二百名を超す程訪れる大盛況となりました。地元で居ながら中々こう言う機会がなく灯台に登るのは初めてと言う人が多く、改めて故郷の灯台の歴史に思いを新たにしました。この余部崎灯台は昭和二十六年に初点灯しましたが、当時、平家の落人伝説の地「御崎」は、道もなく船での往来しか出来ない陸の孤島とも言つべき不便な所でした。そこに灯台を創ることに

なり、御崎の人々は大人も子供も総出で断崖の下の人江から、細い胸突八丁の「けものみち」を百十キロの鉄板や土や砂まで資材の全てを運び揚げました。初めての光が点った時、「ようこんな所に灯台が出来た！」と深い感慨を覚えたそうです。明かりは沖行く船の道標としてだけでなく、御崎の人々の心のももしびのようでもあったと。土地の人々には未だ心に深く刻まれた灯台なのです。

今回は、香住航路標識事務所の方々に同行させて頂き猫崎灯台への徒歩三千メートル、所要約四十分の急坂の登り下りで保守点検の厳しさを体験し、但馬の自然を写している豊岡写真サロンの皆様方の灯台の写真や海の仕事を従事されている方々のお話や、豊岡・竹野・香住・浜坂とそれぞれ別の町の中にある灯台を風土を交え取材しました。浜坂・諸寄の元香住高校で練習船等の船長を長年務められた方の「悪天候で微かな灯台の明かりしか見えなくても、灯台によって異なる光の周期を脈拍で計り航海し、それが目指す灯台と確認できた時の喜びと安堵感は忘れられない」と言うお話や、江戸時代には北前船の風待ち・潮待ちの港として栄えた竹野町の鷹野神社では、貴重な船給馬や方角石・当時菜種油を点し明かりとした常夜灯などの文化財等々、色々な灯台の役割をお聞きするところが出来ました。

\*方角石は当時海の見渡せる岡の上（日初山と名付けられている所）や、海の見える所に高い楕円のようなものを造り、その上に設置して時代の時等風の見合や潮の流れを眺め、あつ何日くらいで風になるか等、船の航行の安全な方角を見極めた石のことで竹野に残された方角石は現在も残存する中でも貴重なものだそうです。

1998年12月10日発行 通巻506号 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会  
昭和32年10月18日 第3編郵便物認可

発行所

兵庫県漁業協同組合連合会  
(財)兵庫県水産振興会

〒652-0844

神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 652-3444 FAX 671-6685

定価80円(本体76円)